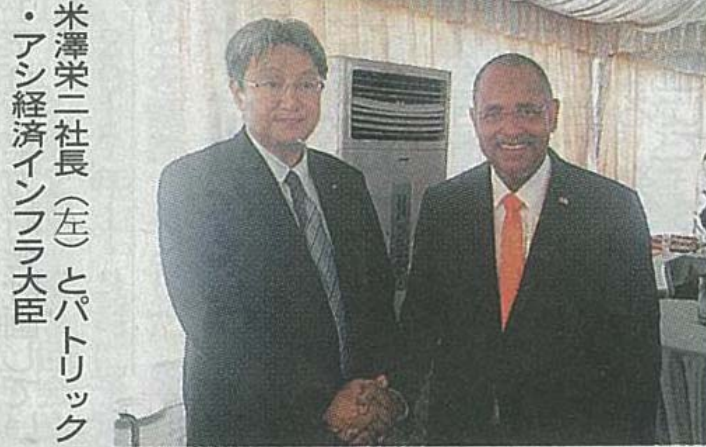


オリコンサル
グローバル

「友好の交差点」起工

コートジボワールで



米澤栄二社長（左）とパトリック・アシ経済インフラ大臣

オリエンタルコンサルタンツグローバルが概略設計・事業計画策定などを実施したコートジボワール国ソリブラ交差点改良事業の起工式が11月25日、同国ダニエル・カブラン・ダンカン首相立ち会いのもと、行われた。2019年10月末の完成を目指す。

日本・コートジボワール友好交差点（通称・ソリブラ交差点）は、同国の政治経済の中心地であるアビジャン市に位置し、国の玄関口であるフェリックス・ウフェ・ボワニ

国際空港に通じるディスプレイスカールデスタン通りと、行政業務地区であるプラトー・コミュニケーションに連絡するドゴール通りが交差している。

流入交通が1日13万台を数える同国で最も渋滞の激しい交差点の1つで、アビジャン市を中心とする国全体の経済発展を妨げるボトルネックとなっており、渋滞改善が最優先課題だった。

同国政府は日本政府に対し、無償資金協力を活用した跨道橋建設を含む交差点改良事業の実施を求め、15年6月25日の交換公文、同年7月10日の贈与契約署名を経て、16年10月21日に大豊建設と工事契約した。